

パブリックフォーラムイベントのご案内

震災を経て強いまちづくりに挑む「産学公民」活動事例

私たちJASFAは、東日本大震災発災後3か月に設立、持続可能社会を実現するための技術やネットワークを活かし、産学連携団体として防災と減災に関するプロジェクトを多く推進してまいりました。

設立から積極的に展開してきたプロジェクトは、地域・国の境界を越え、エネルギー分野、環境分野、人材育成分野など、広範にわたっております。

本フォーラムでは、アグレッシブな活動を継続する産学連携団体JASFAのシーズ展開事例と、宮城県東松島市を舞台に活動するキーマンの一人、作家でナチュラリストのC. W. ニコル氏を迎え、基調講演とパネルディスカッション、ご参加の皆様からの提言を頂戴するワールドカフェを企画いたしました。どうぞお誘いあわせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

■開催概要

日 時:平成27年3月15日(日) 受付 13:30

フォーラム 第一部 14:00~16:15

第二部 16:30~18:30

場 所:TKPガーデンシティ仙台 仙台駅歩3分 AER30階
仙台市青葉区中央1丁目3-1 TEL:022-714-8101

参加費:無料 参加申込みは次頁に記載の上返送願います。

国連防災世界会議パブリックフォーラムイベント JASFA Presents 概要

第一部 基調講演&パネルディスカッション

1. 基調講演 「心に木を植える」 作家・ナチュラリスト C.W.ニコル

2. パネルディスカッション

東松島の「森の学校」を復興のシンボルに

作家・ナチュラリスト C.W.ニコル

東松島市教育長 工藤 昌明

DACグループ代表・冒険家 石川 和則

コーディネーター KITABA 代表取締役 神長 敬



基調講演の
C.W.ニコル氏

第二部 事例報告から参加者の提言へ

1. 強いまちづくりに挑む「産学公民」活動事例

JASFAの「防災・減災」に関するノウハウ・シーズの事例報告

2. 災害に強く、地域特性を活かすまちづくりへの提言

ワールドカフェ形式による「提言」の発信

お問い合わせ TEL:022-246-6421 FAX:022-249-7253 Mail:info@jasfa.info



お問合せは
TEL: 022-246-6421
FAX: 022-249-7253
Mail: info@jasfa.info

参加申込専用FAX

022-249-7253

申込締切 平成27年3月9日(月)
ご興味のある方を何名でもお誘いください

企業団体名

フォーラム参加名

代表者名

連絡先

参加者名

第3回国連防災世界会議パブリックフォーラムイベント 震災を経て強いまちづくりに挑む「産学公民」活動事例

一般社団法人 持続可能で安心安全な社会をめざす
新エネルギー活用推進協議会 (JASFA)

総合司会 JASFA事業局 小山 克博

14:00

開会 JASFA副会長挨拶 仙台高等専門学校副校長 内海 康雄

14:05

第一部 基調講演&パネルディスカッション

5分

基調講演

「心に木を植える」

作家・ナチュラリスト C.W.ニコル

30分

14:40

パネルディスカッション

東松島の「森の学校」を復興のシンボルに

作家・ナチュラリスト C.W.ニコル

東松島市教育長 工藤 昌明

DACグループ代表 石川 和則

コーディネーター KITABA 代表取締役 神長 敬

90分

16:10

ポスターセッション(会場内に掲示されたポスターにて関係活動の説明)

35分

16:45

第二部 事例報告から参加者の提言へ

各10分

1. 強いまちづくりに挑む「産学公民」活動事例

「防災・減災」シーズと応用事例

① ハイブリッドスマートポールの配備

馬淵工業所

② 両面太陽光発電の応用例

PVGSolutions トミタ

(農業シェア&小型蓄電システム)

③ コレクティブハウスの実証事例

KITABA

④ 可搬型バイナリ発電システム

アドバンス理工

16:30

2. 災害に強く、地域特性を活かすまちづくりへの提言

90分

ワールドカフェ形式による「提言」の発信

18:00

議論からの提言のまとめ

まちのちから代表社員 野村 忠司

18:30

閉会 感謝の意を込めて

JASFA代表理事 小野 寿光

